

## 第17回 アジア競技大会 ソフトテニス競技

1. 大会期日 2014年9月29日(月)～10月4日(土)
2. 開催地 韓国 仁川市
3. 日程・種別 10日・11日 シングルス 12日 ミックスダブルス 13日 ダブルス 14日 国別対抗戦
4. 入賞者

### 国別対抗

- 🏆 男子準優勝      🏆 女子準優勝

団長：神崎 公宏

日本男子チーム	監督：斉藤 広宣      コーチ：中堀 成生      トレーナー：川上 晃司 選手：篠原 秀典・小林 幸司・長江 光一・中本 圭哉・桂 拓也
日本女子チーム	監督：田中 弘      コーチ：高川 経生      トレーナー：吉川 友巳奈 選手：森田 奈緒・山下 ひかる・大庭 彩加・森原 可奈・小林 奈央

- 🏆 女子ダブルス第3位：森田 奈緒・山下 ひかるペア



## 第69回 天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会

1. 大会期日 2014年10月24日(金)～10月26日(日)
2. 開催地 秋田県大館市高館テニスコート
3. 入賞者



スポーツ振興基金助成事業

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。  
<http://www.naash.go.jp/sinko/> 独立行政法人日本スポーツ振興センター

### 👑 天皇賜杯 優勝



水澤 悠太・長江 光一ペア  
(広島 NTT西日本広島)



### 👑 皇后賜杯 優勝



佐々木 舞・大庭 彩加ペア  
(広島 NTT西日本広島)



### 🏆 準優勝

増田 健人・柴田 章平ペア(和歌山 和歌山県庁・京都 同志社クラブ) 小林 奈央・平久保 安純ペア(日本学連 早稲田大学)

### 🏆 第3位

十津川 将義・木川 拓也ペア(日本学連 中央大学)  
丸中 大明・鈴木 琢巳ペア(日本学連 中央大学)

中野 優・小林 美咲ペア(広島 ロジコム・NTT西日本広島)  
横山 温香・阿部 悠梨ペア(東京 ナガセケンコー)

## 平成25年度事業報告(平成25年4月1日～26年3月31日)

平成25年度の事業遂行にあたっては、ソフトテニスの普及振興を図り、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、公益財団法人として、高い社会的信用を維持し、次の諸事業を積極的かつ効果的に実施した。

### I. ソフトテニスの普及振興事業

- ソフトテニス競技規則等の制定事業  
ソフトテニスの振興と競技性の向上等、より安全に楽しく競技できるように次のことを検討し実施した。
  - ジュニア低学年用の審判マニュアルを検討し原案を作成した。
  - ソフトテニスとテニスが異なる施設基準となっているため、安全性を考慮しつつ施設基準(アウトコート)を共通化するための検討を進めた。
- 全日本ソフトテニス選手権大会等開催
  - 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。  
日本連盟主催大会16回、共催大会13回を実施
  - 国民体育大会の参加チーム数の増加についてシングルス導入を含めて検討を行い(公財)日本体育協会との調整を図り、平成27年度の和歌山国体から導入が決定した。
- 地域ソフトテニス大会支援  
9地区選手権大会、9地区高校選抜大会、10地区中学選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会、の開催に対して助成を行った。
- 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
  - 地域グループ育成のため、次の事業を実施した。
    - 地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、各支部に対し会員登録料から下記の率により助成した。(一般20%、高校生10%、高専10%、中学生20%、小学生50%)
    - 支部中学校大会への補助、支部レディース大会、ソフトテニス週間への補助を行った。
    - ソフトテニス愛好者増加対策を実施した。  
中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供する等の支部が実施する愛好者増加対策事業を支援した。また、一般、社会人の大会参加増の愛好者増加対策を検討した。
- ソフトテニスの広報活動
  - メディア対策  
平成13年から継続している全日本選手権大会のNHKテレビ放送を13回連続実現した。
  - ホームページの運営
    - 日本連盟ホームページの充実と積極的活用を行った。
    - 日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開した。
    - 日本リーグ(広島市)、都道府県対抗全国中学生大会(伊勢市)でUstreamを活用しライブ中継を実施した。
    - 過去の日本連盟主催大会の映像が、いつでも見られるように動画ライブラリーを推進し効果的広報を展開した。
  - 広報誌発行
    - 機関誌「ソフトテニス」の毎月発行(支部購読1,352名、個人購読348名)
    - 会員報を年2回発行した。
    - 平成25年大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。
- ソフトテニスの表彰・顕彰  
各種表彰を実施し、576名の個人及び41団体を表彰した。

### II. ソフトテニスの競技力向上

- ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査
  - 競技力向上
    - 競技者育成プログラムの推進  
一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。
    - ナショナルチーム及び日本代表チームの強化合宿
      - ナショナルチーム(男子、女子)は年6回の強化合宿を次のとおり実施した。
      - 全日本U-14.U-17.U-20は男女とも年2回(U-20女子は3回)の強化合宿を実施した。
    - 競技力向上のための海外遠征
      - 第12回チャイナカップ(中国・天津市)
      - 第21回日・韓・中ジュニア交流競技会(中国・潍坊市)
      - 第6回東アジア競技大会(中国・天津市)
      - 第1回インド国際大会(インド・アーメダバード市)

- ⑤ワタキューカップ国際大会(イタリア・ローマ市)
- 4)強化スタッフ・強化委員を次のとおり各種大会に派遣した。
- (2)医科学研究調査
  - ①医科学スタッフによるサポート及びトレーナーズテナの設営を実施した。
  - ②各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てた。
- (3)アンチ・ドーピング
  - ①アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を実施した。
  - ②国内大会におけるドーピング検査を実施した。
2. ソフトテニスの指導者養成
  - (1)指導者養成
    - ①指導者養成講習会を14都道府県の会場や履正社医療スポーツ専門学校に於いて実施した。上級指導員養成講習会を福井県に於いて実施した。
    - ②全国小学生・中学生・高校生の指導者の合同研修会を大阪で実施した。

### III. ソフトテニスの国際振興事業

- ソフトテニスの国際振興
  - (1)国際普及活動の推進
    - 1)国際組織(ISTF, ASTF)内での指導的立場に基づく国際性の向上  
スポーツアコードコンベンション、世界アンチ・ドーピング会議(WADA)の総会に専務理事と国際委員長が参加した。
    - 2)普及対象国への指導者、選手の派遣および普及対象の選手、指導者の日本での研修受入れを図った。
      - ①ドイツオープン大会に、横浜市の役員、選手6名を派遣した。
      - ②アルゼンチン、プエノスアイレスへ普及指導のため指導者を派遣した。
      - ③フランクフルトから日本のソフトテニス活動の視察と打合せを行なうため役員を受け入れた。
    - 3)用具・用品の提供・流通の促進を図った。(ボール120打、ラケット145本、ネット10張)
    - 4)国際普及親善活動に結び付く11支部の活動に対して国際親善大会補助を行った。
  - (2)国際大会の開催促進  
東アジア競技大会打合せのため中国(天津市)へ、また、アジア競技大会打合せのため韓国(仁川市)を訪問した。
  - (3)ISTF、ASTF加盟国連盟との打合せ
    - ①国際連盟朴会長、鄭副事務総長と国際連盟の運営と国際大会開催などの打合せのため韓国を訪問した。
    - ②アジアカップひろしま大会参加国(7カ国)と国際普及・振興、国際大会開催などについて打合せを行った。

#### 〔各事業を推進するための組織と財政の強化〕

- 環境と教育への取組み  
ソフトテニスを通じて環境と教育に取組んだ。
  - ①連盟主催大会での横断幕・プログラム等の掲出と大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行った。
  - ②試合終了後の握手励行を行い、フェアプレイ宣言キャンペーン活動を継続推進した。
- 会員登録制度の推進  
会員登録、審判、技術等級、大会申込みシステムを活用し、事務効率化を図った。

#### 〔庶務事項〕

- 評議員会は定時と臨時の2回実施した。
- 専門委員会等諸会議は55回開催した。
- 会員登録制度に関する事項  
平成25年会員登録数は451,227名と昨年度と同様な推移である。
- 維持会費のご協力を頂いた。(10団体90名)
- (公財)日本オリンピック委員会及び日本スポーツ振興センターから補助金、助成金の交付を受けた。
- 各種団体から寄付金・協賛金を受けた。

## 連盟創立90周年

## (ソフトテニス創始130周年)記念事業



12月上旬書店販売開始



12月上旬書店販売開始



平成27年4月劇場公開

# 会員登録料に関する用途概要(平成25年度)

会員登録料の用途は主として

- 1 競技力の向上「競技者育成プログラム」
- 2 競技性の向上
- 3 国際性の向上
- 4 大衆化の促進
- 5 広報活動の強化

等々の事業拡充のために用いられていますが、その他として、学連・高体連への還元、会員の傷害補償金および制度運営のための事務費にも充てられています。

具体的な金額は一般会計や特別会計のなかで従来からの支出科目に組込まれているため、かならずしも明確な仕訳になっていませんが、登録料を原資にした補充額は平成25年度は概ね次のとおりでした。

## (競技力の向上 66,421千円)

- ・選手強化費(ナショナルチーム、全日本アンダーチーム合宿、国際大会派遣) ————— 30,249千円
- ・競技者育成プログラム推進費(ステップ1~4、支部強化推進) ————— 29,094千円
- ・公認コーチ・指導員養成事業関係費 ————— 18千円
- ・医学科学研究費、指導要領等作成費 ————— 7,060千円

## (競技性の向上 32,830千円)

- ・大会開催地・地域大会への補助、大会表彰 — 20,708千円
- ・全日本小学生大会・全国小学生大会・都道府県中学生大会 ——— 12,122千円

## (国際性の向上 17,752千円)

- ・国際大会派遣費 ————— 2,415千円
- ・国際大会振興補助費 ————— 10,806千円
- ・国際普及用具用品購入費 ————— 1,104千円
- ・国際普及指導費 ————— 3,427千円

## (大衆化の促進 66,548千円)

- ・地域グループ育成費(各支部へ一般登録料の20%還元) ———— 11,605千円
- ・ジュニア育成費(各支部を通じて小・中・高・高専登録料の還元) ————— 37,140千円
- ・愛好者増加対策 ————— 3,200千円
- ・ソフトテニス週間、支部レディース大会、支部中学生大会 ———— 8,160千円
- ・審判、指導者育成費(小・中・高生指導者研修会) ———— 6,443千円

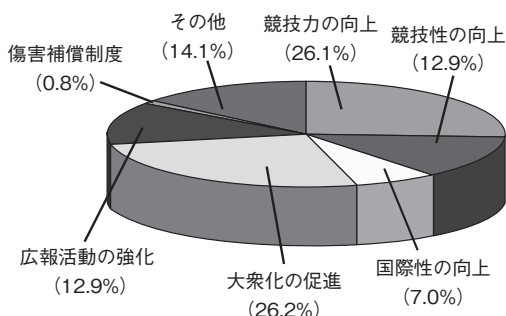
## (広報活動の強化 32,882千円)

- ・テレビ放映関係費(NHK全日本選手権大会の番組製作費) ———— 7,296千円
- ・インターネット関係費(ホームページ管理、システム構築) ———— 6,960千円
- ・大会記録集作成費 ————— 1,320千円
- ・会員報作成費 ————— 3,382千円
- ・機関誌関係費 ————— 3,311千円
- ・その他広報活動費 ————— 10,613千円

## (傷害補償給付金等 1,984千円)

- ・学連への還元 ————— 2,027千円
- ・高体連への還元 ————— 4,425千円
- ・中体連への還元 ————— 450千円
- ・会員登録事務費 ————— 26,064千円
- ・事務所管理費 ————— 3,026千円

合 計 ————— 254,409千円



# 収支計算書総括表(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科 目	一般会計	助成事業特別会計	国際特別会計	傷害補償制度特別会計	内部取引消去	合計
<b>I 事業活動収支の部</b>						
1. 事業活動収入						
(1) 基本財産運用収入	1,126,583	0	0	0	0	1,126,583
1. 基本財産運用収入	1,126,583					1,126,583
(2) 会費収入	296,529,500	0	0	0	0	296,529,500
1. 支部分担金収入	7,500,000					7,500,000
2. 会員登録料収入	254,409,500					254,409,500
3. 維持会費収入	34,620,000					34,620,000
(3) 事業収入	153,118,697	4,190,000	0	0	0	157,308,697
1. 大会参加料収入	24,249,500	4,190,000				28,439,500
2. 用具検定費収入	29,774,598					29,774,598
3. 機関誌関係費収入	9,232,880					9,232,880
4. 技術等級認定料収入	5,935,646					5,935,646
5. 公認審判収入	64,094,113					64,094,113
6. 出版物収入	19,831,960					19,831,960
(4) 補助金等収入	0	74,384,360	0	0	0	74,384,360
1. 補助金収入	0	74,384,360				74,384,360
(5) 協賛金寄付金収入	27,400,000	15,900,000	3,000,000	0	0	46,300,000
1. 協賛金収入	27,250,000	15,900,000	3,000,000			46,150,000
2. 寄付金収入	150,000					150,000
(6) 雑収入	3,034,911	1,477,461	2,238	0	0	4,514,610
1. 受取利息収入	97,006	5,911	2,238	0		105,155
2. 広告収入	820,000	1,000,000				1,820,000
3. 雑収入	2,117,905	471,550				2,589,455
(7) 他会計からの繰入金収入	0	95,206,387	21,000,000	1,984,405	△ 118,190,792	0
1. 一般会計	0	95,206,387	21,000,000	1,984,405	△ 118,190,792	0
2. 募金会計	0					0
(8) 国際大会積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0
1. 国際大会積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0
<b>事業活動収入計</b>	<b>481,209,691</b>	<b>191,158,208</b>	<b>24,002,238</b>	<b>1,984,405</b>	<b>△ 118,190,792</b>	<b>580,163,750</b>
2. 事業活動支出						
(1) 事業費支出	205,374,971	191,158,208	12,488,097	1,957,000	0	410,978,276
1. 大会開催地関係費	51,411,020					51,411,020
2. 地域大会補助費	4,300,000					4,300,000
3. 地域グループ育成費	67,007,100					67,007,100
4. 広報活動費	45,182,173					45,182,173
5. 表彰費	13,592,876					13,592,876
6. 技術等級関係費	1,381,594					1,381,594
7. 公認審判関係費	21,070,175					21,070,175
8. 用具施設証明作成費	1,430,033					1,430,033
9. 競技力向上費			159,490,427			159,490,427
10. 指導者育成事業費			10,077,953			10,077,953
11. 大会開催等関係費			18,262,738			18,262,738
12. 日本スポーツ・マスタース参加支援費			3,327,090			3,327,090
13. 会議費			650,586			650,586
14. 視察費	0		0			0
15. 親善大会費			805,565			805,565
16. 普及指導費			6,426,877			6,426,877
17. 普及指導教材費			408,187			408,187
18. 用具費			1,103,721			1,103,721
19. 大会振興補助費			0			0
20. 活動促進費			566,520			566,520
21. 国際大会派遣費			2,526,641			2,526,641
22. 傷害補償金				1,957,000		1,957,000
23. 免税手数料						0
指導要領等作成費	0					0
審判検定会・研修会費	0					0
大会役員関係費	0					0
その他大会関係費	0					0
運営費補助	0					0
(2) 管理費支出	106,982,402	0	0	27,405	0	107,009,807
1. 人件費	33,584,255					33,584,255
2. 会議費	13,112,961					13,112,961
3. 会員登録関係費	26,064,286					26,064,286
4. IT関係費	15,032,494					15,032,494
5. 一般管理費	19,188,406		0	27,405	0	19,215,811
(3) 加盟費支出	1,101,297	0	0	0	0	1,101,297
1. 加盟費	1,101,297					1,101,297
(4) 他会計への繰入金支出	118,190,792	0	0	0	△ 118,190,792	0
1. 一般会計	118,190,792				△ 118,190,792	0
2. 助成事業特別会計	95,206,387				△ 95,206,387	0
3. 国際特別会計	21,000,000				△ 21,000,000	0
4. 傷害補償制度特別会計	1,984,405				△ 1,984,405	0
5. 募金会計	0					0
(5) 国際大会積立金支出	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000
1. 国際大会積立金支出	0	0	10,000,000			10,000,000
<b>事業活動支出計</b>	<b>431,649,462</b>	<b>191,158,208</b>	<b>22,488,097</b>	<b>1,984,405</b>	<b>△ 118,190,792</b>	<b>529,089,380</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>49,560,229</b>	<b>0</b>	<b>1,514,141</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>51,074,370</b>
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
(1) 職員退職積立金取崩収入	4,959,426	0	0	0	△ 4,959,426	0
1. 職員退職積立金取崩収入	4,959,426				△ 4,959,426	0
<b>投資活動収入計</b>	<b>4,959,426</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 4,959,426</b>	<b>0</b>
2. 投資活動支出						
(1) 職員退職積立金支出	1,500,000	0	0	0	△ 1,500,000	0
1. 職員退職積立金支出	1,500,000				△ 1,500,000	0
(2) 資産取得資金積立金支出	20,000,000	0	0	0	△ 20,000,000	0
1. 資産取得資金積立金	20,000,000				△ 20,000,000	0
(3) 職員退職金支出	4,972,265	0	0	0	△ 4,972,265	0
1. 職員退職金支出	4,972,265				△ 4,972,265	0
<b>投資活動支出計</b>	<b>26,472,265</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 21,500,000</b>	<b>4,972,265</b>
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 21,512,839</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16,540,574</b>	<b>△ 4,972,265</b>
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
(1) 長期借入金収入	0	0	0	0	0	0
1. 長期借入金収入	0					0
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
2. 財務活動支出						
(1) 長期借入金返済支出	0	0	0	0	0	0
1. 長期借入金返済支出	0					0
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
IV 予備費支出						
当期収支差額	28,047,390	0	1,514,141	0	16,540,574	46,102,105
収支調整額	△ 4,631,722	0	0	0	△ 16,540,574	△ 21,172,296
前期繰越収支差額	53,921,697	0	1,018,106	0	0	54,939,803
次期繰越収支差額	77,337,365	0	2,532,247	0	0	79,869,612

## 平成25年度会員傷害補償制度事故実績

本連盟独自の傷害制度の25年度給付状況と主な傷害内容は次のとおりでした。

【事故件数】 38件 【支払給付金】 1,957,000円 (単位: 件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	7	1					8
骨折	9			1		1	11
靭帯損傷	5			3			8
肉離れ	5						5
その他	4			2			6
計	30	1		6		1	38

充分なウォーミングアップで事故を防止し、ソフトテニスを楽しんでください。万が一傷害に合われた場合は、本連盟にお問合わせください。なお、補償内容・給付金請求の手続きについては日本ソフトテニス連盟ホームページの「傷害補償制度」に記載されています。

## 会員登録者の実績

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成21年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508
平成20年度	3,291	51,436	17,408	279,203	87,243	810	8,288	447,679
平成19年度	0	54,239	17,415	269,939	91,165	385	7,543	440,686
平成18年度	0	53,787	17,742	240,872	93,199	373	7,567	413,540

(注)平成20年度より指導者区分を設置。

## 平成25年度 会員登録数

No	支部名	指導者		一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合計	
		会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数
1	北海道	237	172	2,263	36	569	273	8,224	147	3,254	3	98	0	10	631	14,655	
2	青森	212	52	508	11	170	101	3,821	43	875	1	8	1	13	209	5,607	
3	岩手	332	60	1,106	30	420	137	4,461	68	1,861	1	25	0	19	296	8,224	
4	宮城	94	68	778	17	428	164	4,258	80	2,495	2	26	1	11	332	8,090	
5	秋田	194	36	594	13	286	76	2,598	44	1,067	1	8	0	2	170	4,749	
6	山形	92	36	535	18	413	70	2,976	44	1,349	1	5	0	1	169	5,371	
7	福島	360	73	682	26	579	159	6,917	74	1,637	1	37	0	0	333	10,212	
8	茨城	408	73	804	16	576	198	9,203	81	2,103	1	4	0	2	369	13,100	
9	栃木	49	39	861	15	411	127	5,889	50	1,192	0	17	0	20	231	8,439	
10	群馬	123	48	1,013	20	659	156	7,228	51	1,301	1	9	1	17	277	10,350	
11	埼玉	220	214	4,018	32	1,098	374	19,711	131	4,380	0	4	0	169	751	29,600	
12	千葉	602	117	1,935	19	480	338	17,875	116	2,990	1	6	0	17	591	23,905	
13	東京	199	135	2,967	26	463	276	9,012	181	4,285	1	15	0	99	619	17,040	
14	神奈川	539	99	1,102	13	337	357	20,494	132	2,897	0	0	0	2	601	25,371	
15	山梨	20	48	577	15	317	17	337	33	991	0	0	0	13	113	2,255	
16	新潟	199	59	923	22	453	157	5,033	62	1,270	1	16	0	0	301	7,894	
17	長野	144	34	1,438	19	428	124	4,362	71	1,581	1	22	0	14	249	7,989	
18	富山	77	23	377	14	324	59	2,458	28	915	0	0	0	0	124	4,151	
19	石川	29	53	723	21	387	72	3,713	37	960	2	22	1	1	186	5,835	
20	福井	49	36	482	5	145	43	1,531	16	574	1	12	0	2	101	2,795	
21	静岡	577	129	1,576	25	823	316	14,049	79	1,524	1	23	3	23	553	18,595	
22	愛知	259	174	3,092	20	678	354	20,225	145	5,692	0	22	0	46	693	30,014	
23	三重	74	49	712	15	359	153	6,727	49	1,272	1	11	0	14	267	9,169	
24	岐阜	40	62	901	31	614	255	7,368	51	1,815	0	19	0	35	399	10,792	
25	滋賀	82	29	519	12	381	71	1,003	40	1,513	0	0	0	4	152	3,502	
26	京都	95	84	902	18	404	119	4,135	53	1,467	0	0	0	0	274	7,003	
27	大阪	268	94	1,785	16	264	270	9,278	198	3,282	0	0	0	7	578	14,884	
28	兵庫	171	83	1,526	16	253	309	16,721	150	4,747	2	43	0	4	560	23,465	
29	奈良	109	35	946	8	131	65	2,717	28	863	0	0	0	9	136	4,775	
30	和歌山	84	59	782	17	274	102	3,536	29	812	1	22	0	0	208	5,510	
31	鳥取	87	32	418	11	171	37	1,111	24	563	1	23	1	13	106	2,386	
32	島根	88	44	379	11	207	56	1,846	41	859	1	0	0	12	153	3,391	
33	岡山	160	66	701	12	192	134	5,549	68	2,040	1	43	0	1	281	8,686	
34	広島	196	115	1,365	15	302	142	4,984	97	2,567	2	67	0	99	371	9,580	
35	山口	163	65	1,075	8	249	103	4,540	52	1,591	3	82	0	30	231	7,730	
36	徳島	147	24	304	7	126	98	2,291	23	487	1	31	0	0	153	3,386	
37	香川	87	29	381	9	213	51	2,352	30	719	2	10	0	1	121	3,763	
38	愛媛	150	33	579	12	235	133	4,346	65	1,234	1	48	0	0	244	6,592	
39	高知	54	27	342	11	141	37	1,100	24	431	1	6	0	14	100	2,088	
40	福岡	486	76	1,104	20	322	193	7,469	142	2,649	4	66	0	65	435	12,161	
41	佐賀	207	22	407	14	276	73	3,120	39	866	0	0	0	0	148	4,876	
42	長崎	412	51	883	16	309	152	4,943	104	1,898	1	37	1	88	325	8,570	
43	熊本	426	64	873	17	346	147	5,085	61	1,419	2	43	1	8	292	8,200	
44	大分	164	52	580	8	142	98	2,351	28	677	0	23	0	21	186	3,958	
45	宮崎	250	60	602	22	397	152	3,346	37	879	1	22	0	1	272	5,497	
46	鹿児島	151	110	1,237	37	355	187	4,716	77	1,125	2	47	1	5	414	7,636	
47	沖縄	101	41	665	13	153	48	1,317	33	433	0	2	0	22	135	2,693	
48	日本学連	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	13	446	6,676	446	6,693	
合計		9,268	3,184	48,324	809	17,260	7,133	286,326	3,256	81,402	47	1,037	457	7,610	14,886	451,227	
昨年度		8,751	3,230	49,279	797	17,174	7,251	284,478	3,281	82,510	46	1,005	472	7,800	15,077	450,997	

(平成26年3月31日現在)